熊本市立弓削小学校　Ｒ７年度学校だよりNo.１２

弓削の森

マスコットキャラクター
ゆげっ子の木

令和７年 10 月 27 日（月）
文責　木村　公一

【校訓】　健康　協力　創造
【学校教育目標】「心豊かに社会を生き抜く力をもつこどもの育成」
～みんなの命を大切に　みんなの幸せを大切に　みんなの学び合いを大切に～

平和学習での学び　～修学旅行（６年）～

１０月１６日（木）、１７日（金）に６年生の修学旅行を実施しました。１日目は長崎市での平和学習、２日目はハウステンボスでの活動を行いました。６年生のこどもたちは、２日間の旅行を通して素敵な思い出ができ、友だちとの親睦も深めることができました。今回の学校だよりでは、１日目の平和学習での学びについて書かせていただきます。１日目、長崎市に到着して昼食を取った後、平和公園横にある長崎原爆被災者協議会に行き、被爆体験講話を聴きました。今年度は長野靖男さんが講師としてお話をしてくださいました。長野さんは２歳の時、防空壕に避難する際に、爆心地から５ｋｍの場所で被爆されたとのことでした。被爆後の暮らしが困窮し大変だったこと、造船業への就職後、過酷な現場で働きながら家族を養い、音楽活動を続けたことなど、ご自身のことを語ってくださいました。４０歳の時に、日本原水爆被害者団体協議会の発足にも関わり車椅子の語り部として平和活動を行っていた渡辺千恵子さんと出会い、「平和の旅へ」という音楽構成にも携わったということも話してくださいました。長野さんは、長野さんの人生に大きな影響を与え、親交のあった渡辺さんの被爆時の様子を語り継ぐことが大切であると考えておられ、講話の中で渡辺さんが「生まれてから被爆まで」「被爆してから被爆証言をするまで」「被爆証言後から車椅子に乗るまで」「車椅子で平和への旅へ」の４つの人生について詳しくお話をしてくださいました。こどもたちは、長野さんの話を通して戦争の悲惨さと平和の大切さをしっかり学ぶことができました。長野さんへのお礼の言葉を述べた代表児童は、「私たちが長野さんのお話を語り継いでいきます。そして周りの人とも仲良くし、争いのない世の中にしていきたいです」と述べていました。

講話後、平和祈念像の前で平和集会を行いました。こどもたちは、平和を誓い、「あすという日が」という曲を、心を込めて合唱しました。合唱後、周りにいた外国人観光客の方を含め、たくさんの方々から拍手をいただきました。こどもたちの平和への思いが伝わった瞬間でした。その後のフィールドワークでも、長崎さるくガイドの方のお話をしっかりと聞きながら、班で被爆遺構を見学して回り、更に平和についての学びを深めることができました。

戦後８０年、長野さんの言葉の中にあった「今日の聞き手は明日の語り手」という言葉が心にとても残っています。現在被爆された方々の平均年齢が８６歳であり、被爆時の実相をご自身の経験を基に直接語ることができる方が少なくなってきています。だからこそ、長野さんがおっしゃってくださったように、被爆体験講話で聴いたことを、これから先の未来を担うこどもたちがしっかり語り継いでいくことが大切であると感じました。弓削小学校でもこれからも平和学習にしっかり取り組んでいきたいと思います。長野さん、ご講話いただき、ありがとうございました。

お願い

１０月後半になり、急激に朝夕の寒暖差が大きくなってきました。そろそろ衣替えの季節になってきたなと感じます。最近の報道で熊本市がインフルエンザの流行期に入ったとありました。これから、行事等もたくさんある時期ですので、学校では手洗い、うがいの励行に取り組み、予防に努めたいと思います。ご家庭でも予防への取組をよろしくお願いいたします。

学校だよりは
ホームページにも
掲載しています。